

地方でのビジネス実践 も テレワークは 不可欠

真庭市DXモデルが拓く、
地域社会とビジネスの
新たな未来

厚生労働省主催テレワークセミナー

株式会社まちと学びのイノベーション研究所（CLII）
2025年11月27日

なぜ今、 地方で テレワークなのか？

人口減少、高齢化、人材不足。
多くの地方都市が直面する課題に対し、
**デジタルトランスフォーメーション（DX）と
テレワーク**は、地域経済を再活性化させる強力な鍵となります。



8割

の自治体が
2040年までに人口減少率20%以上に
直面する見込み



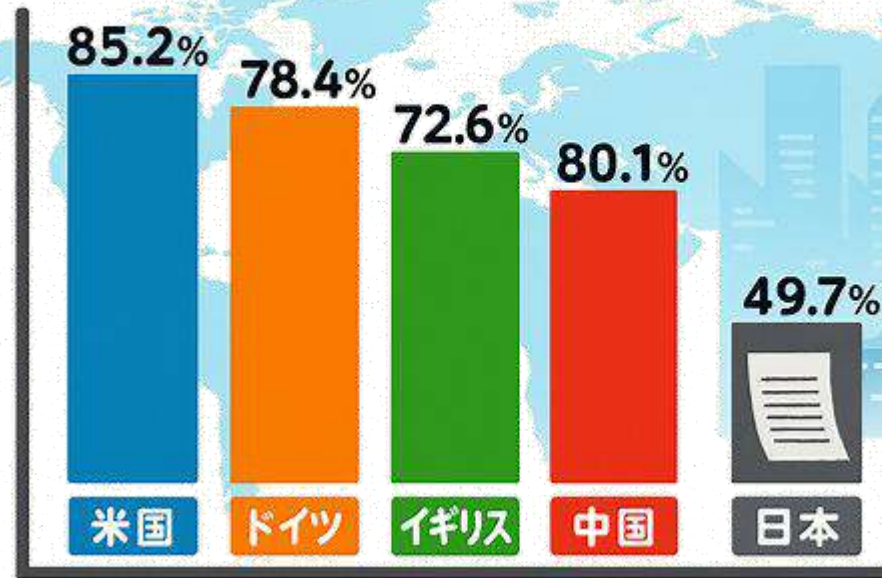
35%

の地方企業が深刻な人材不足に直面
し、事業継続に懸念

日本のデジタル化の遅れと地方の現実

- ❗ 専門人材不足／外部依存 → 高コスト・長納期・内製化が進まない
- ❗ 従来型DX：大規模投資・ベンダーロック・継続性の課題
- ❗ 地方の現実：縦割り・紙文化・調達の硬直化
- 💡 「小さく速く試す」アプローチが必要

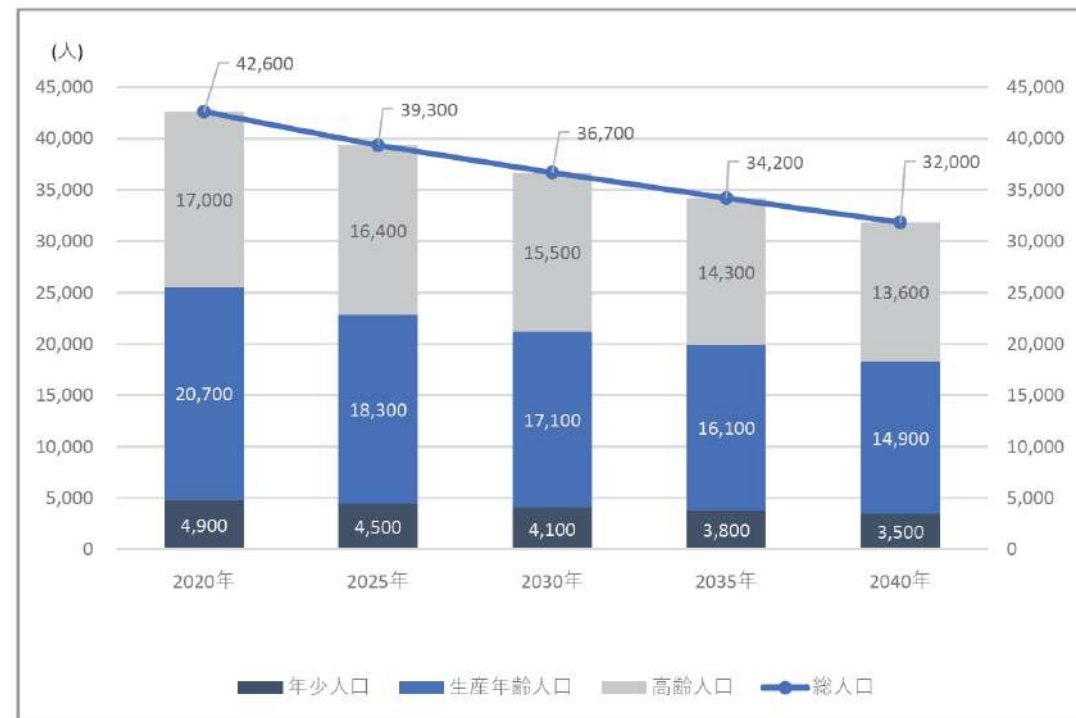
日本のデジタル化の遅れ



各国のデジタル化取組状況（2024年 総務省調査より）



我がまち真庭市も同様です。



※年少人口 : 0歳から14歳までの人口
 生産年齢人口 : 15歳以上65歳未満の人口
 高齢人口 : 65歳以上の人口

2025年10月1日 現在40,078人

真庭市dX戦略（第4次情報化計画）

3つの柱：

官民連携による地域DX戦略

株式会社まちと学びのイノベーション研究所設立（2021年11月）

真庭市「真庭dX戦略計画」策定（2022年4月）

真庭DX戦略推進協議会（MDX）設立（2022年7月）
→2025年6月一般社団法人化

官民連携を核とした独自のDXモデルを推進。
このモデルは3つの柱で構成され、地域全体の持続可能な成長を実現します。

01
行政
DX

02
地域
DX

03
経済
DX

会社紹介と 修徳館

設立：2021年11月12日

所在地：岡山県真庭市久世2511-13（修徳館2階）






構成：取締役3名・研究員6名・事務スタッフ6名

「地域に根差したコンサルファームとして、データ分析、デジタル技術及びアカデミックな知識を活用して、ひとづくり、まちづくりを実践する中でイノベーションを生み出す」

真庭市のDX戦略を支援し、データ分析と人材育成の両面から地域経済振興と市民QOL向上に貢献しています。

5つの価値観（地域DX・人材育成・まちづくり・企業連携・市民生活向上）を基に活動しています。

修徳館の機能とサービス

-  レンタルオフィス／コワーキングスペース提供
-  県外IT・クリエイティブ企業の進出支援・誘致
-  地域企業との連携事業のコーディネート
-  DX人材育成講座・セミナー・イベント開催
-  教育プラットフォーム開発、産学官民連携の推進

2,000⁺ 延べ総利用者数（2023年10月開設以降）

11 入居企業・団体数（2025年11月現在）
* 企業7社（バーチャルオフィス2社）団体3団体

地方創生テレワークアワード2024「地方創生大臣賞」
受賞

CITY&LEARNING

innovationresearchinstitute

Our 5-values Flag

1. 地域DX等のコンサルティングによるイノベーションの創出
2. 地域特性を活かした教育・イノベーション人材の育成
3. デジタル技術を活用したサステイナブルなまちづくり
4. 企業間連携・マッチングによる地域産業の振興
5. スマートシティ推進による市民の生活の質の向上

組織について

取締役会



岡野智博
(株)まちと学びのイノベーション研究所
代表取締役CEO
(一社)真庭DX戦略推進協議会理事・事務局



長網茂雄
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（マーケティング）



鶴丸誠
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（クラウド構築・アプリ開発）



山本正行
(株)まちと学びのイノベーション研究所会長、
山本国際コンサルタンツ代表、
株式会社アリアドネ・インターナショナル・
コンサルティング代表取締役



井坂康志
(株)まちと学びのイノベーションエグゼ
クティブフェロー、ものづくり大学教養
教育センター教授（ドラッカー経営学研
究室）、博士（商学）
ドラッカー学会共同代表



鈴木肇
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（オープンイノベーション、技術移転担
当）イノベーションヒルズ株式会社 代表取締役CEO、
株式会社ワイアードゲート 代表取締役社長



加賀山茂
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員/CLO、名古屋大学(名誉教授)、
明治学院大学(名誉教授) 専門：民法、法
情報学



松浦好治
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員/CGO、名古屋大学名誉教授。
専門：法哲学、法思想史、法情報論



廣川 佐千男
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（データ分析）、九州大学名誉教授、博士
（理学）専門：知能情報学、計算機科学、Webマイニング、
機械学習、テキストマイニング、半構造データ、WEBク
ローラー、情報検索



松田一敬
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員/CDO、Digital Platformer株式会
社代表取締役 合同会社SARR代表執行役員、
INSEAD(仏)にてMBA、北海道大学大学院に
て医学博士取得



東宏一
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（スタートアップ担当）株式会
社Groove Designs取締役、福岡市DXデザイナー、
官民連携プラットフォームUrban Innovation
Japanプロジェクトマネージャー



岡崎貫治
(株)まちと学びのイノベーション研究所
シニア研究員（金融）リスク計測テクノロ
ジーズ株式会社代表取締役

DX推進拠点

Innovation Commons 修徳館

2023年10月開設の修徳館は、デジタル田園都市国家構想地方創生テレワーク型の採択を受け、地域のデジタル産業集積拠点提供、企業誘致、人材育成、地域連携の触媒として機能しています。



修徳館では、レンタルオフィス・コワーキングスペース、テレワーク室、会議室を活用して、様々なセミナー、イベントの開催や県外からのIT・クリエイティブ分野の進出企業を支援し、地域企業との連携事業の立上げています。

地域振興に資するイノベーションの創出を推進し、教育事業では、Society5.0社会を切り拓く地域DX人材の育成を目指しています。



CITY&LEARNING

innovationresearchinstitute

自治体・企業DX推進、データ分析調査、データ連携基盤構築コンサルティング事業



真庭市を中心に自治体DXや企業DXに関するコンサルやアプリケーション開発を行っています。

真庭市が推進するスマホを活用した「行政サービス」「市民サービス」のスーパーアプリ化では、それらサービスの連携を可能にするデータ連携基盤「JP-LINK」の構築・運用を、真庭市から受託しています。

また、真庭市における人流データ分析や観光地における宿泊者データ分析、職員の意識調査アンケートの集計・分析などを受託しています。

教育プラットフォーム開発、地域の経営・デジタル人材育成等の講座の企画運営



真庭市内の県立高校と連携した、地域連携講座「鼓山塾」の企画運営を通じた若者層とつながる教育プラットフォームの構築。

2022年度から2025年度まで延べ2000名以上が受講。

岡山大学、地域企業・団体と連携して、2024年8月に、MANIWAeスポーツクラブを設立し、eスポーツを契機として、プログラミング教育やクリエイティブコンテンツ製作などの教育プラットフォームの開発に着手しています。

真庭市産業サポートセンターからの受託し企画運営した「ドラッカー経営講座」(オンラインとオンデマンド+対面)の手法をベースにした、若者や女性、シニアの起業やFP等の講座・セミナーの企画運営を行います。



「一般社団法人真庭DX戦略推進協議会」の事務局運営



地域DX推進を目的として、2024年6月に設立した「一般社団法人真庭DX戦略推進協議会」の記念フォーラムの様様。

真庭商工会、真庭観光局、真庭森林組合など、地域企業17社、県外企業1社を中心に構成。岡山大学、ものづくり大学、地域公立高校などを学術機関も参加しています。

「一般社団法人真庭DX戦略推進協議会」は、次のような目的で設立（2024年6月6日）

真庭市における行政・企業等のDX推進とスマートシティを構成するプラットフォーム及びデジタルサービスを導入するにあたり、「真庭市dX戦略計画」等に基づいて、官民が一体となり、データ活用、デジタル技術導入による生産性の向上や価値創造に結び付く地域産業のDXを推進し、デジタルによる戦略的な成長戦略の策定から実施までの支援を行うことにより、真庭市の持続的な成長を図ることを目的とする。

地域内外の企業間連携推進・企業連携による新規事業開発コンサルティング事業



修徳館2階レンタルオフィス進出企業を中心に、地域企業との連携事業をコーディネートし、新製品やサービスを開発し、デジ田交付金での申請に結びつけています。

地域企業とのコミュニケーションは、オンラインを常時活用しており、修徳館は、そのハブとして機能しています。

※入居企業・団体(2025年10月1日現在):

企業7社、団体3団体

山本国際コンサルタンツ合同会社(本社/東京都新宿区)

サイバーダイン株式会社(本社/東京都新宿区)

株式会社フィノバレー(本社/東京都港区)

株式会社eek(本社/北海道札幌市;株)ソルクシーズグループ)

株式会社アイネットマコト(本社/佐賀県唐津市)

株式会社キマド(本社/真庭市←米国)

株式会社Leaf(本社/岡山県久米南町)

一般社団法人真庭DX戦略推進協議会

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会
(CSPFC)PMO

MANIWA eスポーツクラブ

企業連携プロジェクト事例

修徳館では、複数企業・団体の事業共創を支援し、産業の垣根を超えた新たな価値創造を実現しています。

事例① サイバーダイন(株)×山下木材(株)×(有)櫻井タンス店
デザイン思考と地域木材産業の連携による家具開発

※進出企業：サイバーダイン株式会社（本社：東京都新宿区早稲田）
SF&ファンタジー、キャラクターデザイン、ファインアート出版の他、
ゲームやメタバース、NFT企画など幅広いビジネス展開をしている。

事例② 山本国際コンサルタンツ 合同会社×津山信用金庫
地域企業の海外展開支援と金融情報サービスの支援

※進出企業：山本国際コンサルタンツ合同会社（本社：東京都新宿区
西新宿3-7-1）
代表の山本正行氏は、金融機関やキャッシュレス企業のコンサルを中心
に全国的に活躍している。

事例③ (株)フィノバレー×(株)まちと学びのイノベーション研究所
デジタル地域通貨を活用した地域経済循環創出プロジェクト

※進出企業：株式会社フィノバレー（本社：東京都港区麻布台）
デジタル地域通貨の開発企業。2023年1月から真庭市においても「まに
こいん」を実装し、デジタルなまちづくりを推進している。

事例④ (株)eek×オーティス(株)・東真産業(株)
eスポーツを通じた地域活性化と人材育成プロジェクト

※進出企業：株式会社eek（本社：北海道札幌市中央区大通西3-6）
上場企業株式会社ソルクシーズグループ企業。eスポーツの企画運営
からeスポーツプレイヤーのセカンドキャリアコンサルを行っている。

企業連携プロジェクト事例①

サイバーダイン(株) × 山下木材(株) × (有)櫻井タンス店

デザイン思考と地域木材産業の連携による家具開発

■ フライトケースを展開した家具開発

フライトケースとは...

音楽・イベントの機材運搬用のケースで、フライト：Flight（航空機移動）やトラック（陸送）での移動時に機材を防護するヘヴィデューティー（堅牢）構造となっている。

■ ソファ & チェア



■ ビジネスデスク & キャビネット



■ ミニキッチン & ベンダー



企業連携プロジェクト事例②

山本国際コンサルタンツ 合同会社×津山信用金庫

地域企業の海外展開支援と金融情報サービスの支援

■地域事業者様の紹介サイト立上げ
および広報冊子の発行

■真庭市のデジタルプラットフォーム
「まにあぷり」との連携

津山信用金庫様

- DXによる業務改善のご協力
- 業務内容のヒアリングと紹介コンテンツの作成

顧客企業

DX化による業務効率化
全国規模の事業紹介

企業紹介ホームページ

企業紹介冊子

企業連携プロジェクト事例③

(株)フィノバレー × (株)まちと学びのイノベーション研究所

地域をつなぐ

データ基盤 JP-LINK

と「まにこいん」「まにあぷり」

市民
40,000
人
の内
25,000
人
が利用中

デジタル地域通貨「まにこいん」(2023年1月実装)

市民参加型DXの中核となるスーパーアプリ「まにあぷり」(2025年1月実装)

デジタル地域通貨基盤で行政サービスや地域情報を連携し、
真庭市民（約4万人）の約6割が利用する生活インフラへと成長しています。



デジタル地域通貨「まにこいん」



AI搭載チャットボット



行政手続きのデジタル化

自治体・企業DX推進、データ分析調査、データ連携基盤構築コンサルティング事業

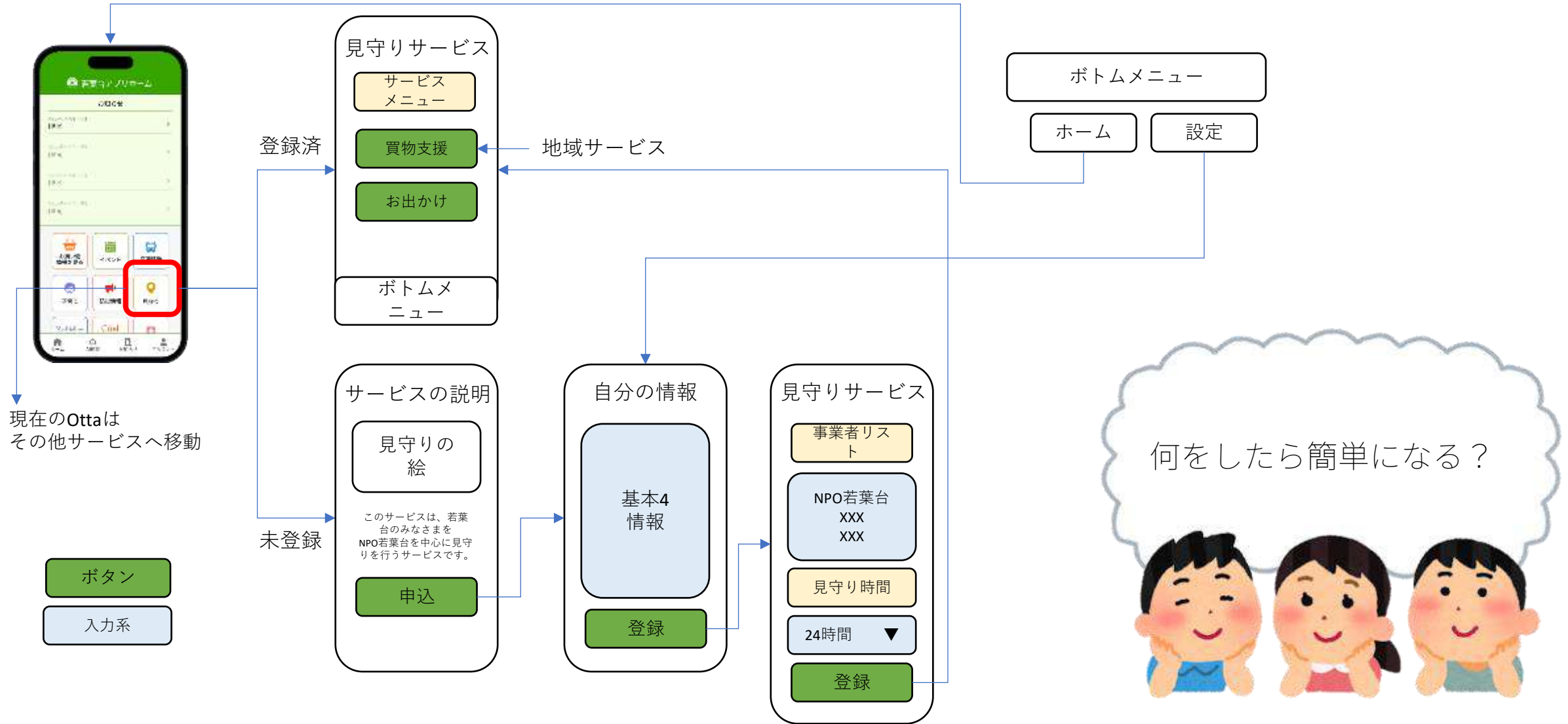
真庭市を中心に自治体DXや企業DXに関するコンサルやアプリケーション開発を行っています。

真庭市が推進するスマホ等を活用した「行政サービス」「市民サービス」のスーパーアプリ化では、それらサービスの連携を可能にするデータ連携基盤「JP-LINK」の構築・運用を、真庭市から受託しています。

また、真庭市における人流データ分析や観光地における宿泊者データ分析、職員の意識調査アンケートの集計・分析などを受託しています。



(例) まにあぶりにノーコードでサービスを作る



時間：24時間/36時間/48時間

(例) 介護事業者見守りサービス

ユーザー登録前の流れ

サービス利用規約・同意書

8:19 PM 10月14日

← 見守りサービスとは？

「NPO寄集台」を中心に
若葉台の皆さまに
「見守り」と「生活支援」
を行うサービスです。

見守り【24時間見守り体制】

生活支援【お買い物・お出かけ・家事サポート】

申込み

ホーム 設定

情報登録画面

8:19 PM 10月14日

← あなたの情報を登録

氏名 **姓** **名**

性別 年齢

生年月日 **年** **月** **日**

電話番号 **区** **番** **内** **線**

ご住所

郵便番号 都道府県

市区町村番地

マンション名・ビル名・管理番号

戻る 次へ

ホーム 設定

見守りサービス設定

8:19 PM 10月14日

← 見守りの方法を設定

見守り事業者

「見守り」を依頼したい事業者を
選択してください。

見守り事業者を選ぶ

見守り時間

「見守り」を依頼したい時間を
選択してください。

見守り時間を選ぶ

戻る 登録

ホーム 設定

ユーザー登録後の流れ

見守りサービスメニュー

8:19 PM 10月14日

← 見守りサービス

生活支援
サービスメニュー

お買い物サポート
・食料品の買い物
・日用品の買い物

依頼する

お出かけサポート
・通院の付き添い
・散歩の付き添い

依頼する

家事サポート
・掃除・洗濯・料理 他

依頼する

ホーム 設定

お買い物サポート

8:19 PM 10月14日

← お買い物サポート

食料品の
買い物

日用品の
買い物

電話して
「お買い物」サポート
を依頼する

ホーム 設定

お出かけサポート

8:19 PM 10月14日

← お出かけサポート

通院の
付き添い

散歩の
付き添い

電話して
「お出かけ」サポート
を依頼する

ホーム 設定

家事サポート

8:19 PM 10月14日

← 家事サポート

掃除
洗濯

料理

電話して
「家事」サポート
を依頼する

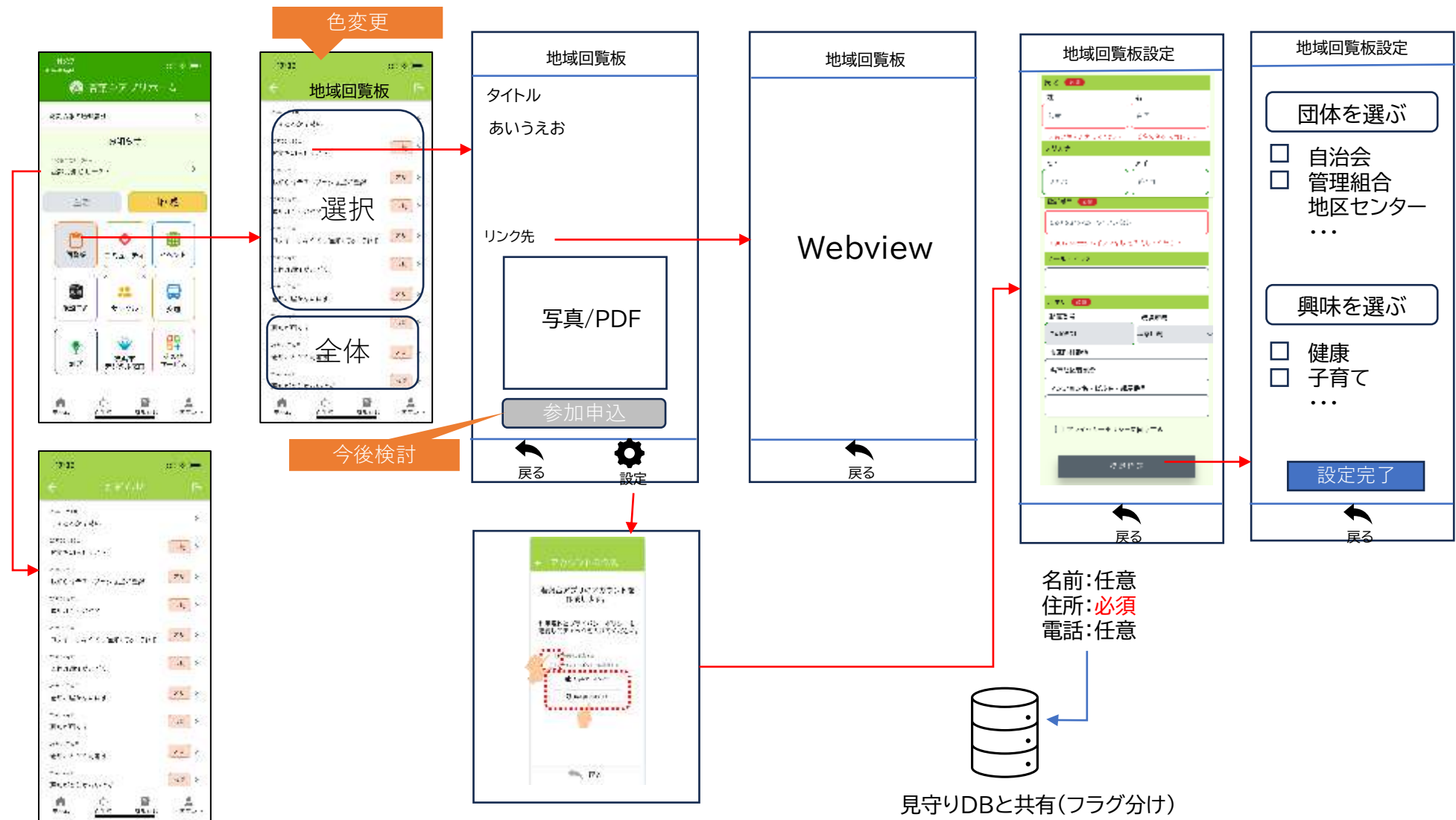
ホーム 設定

簡単に使えるかな



他にも何に
困ってるかな？

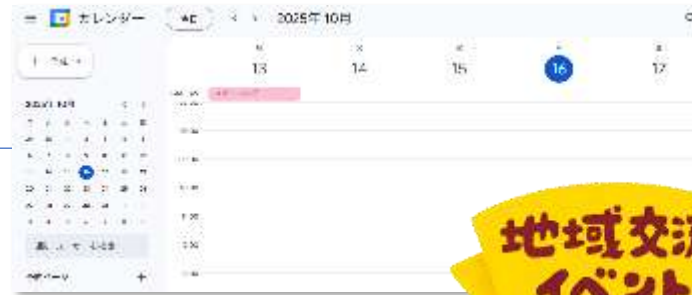




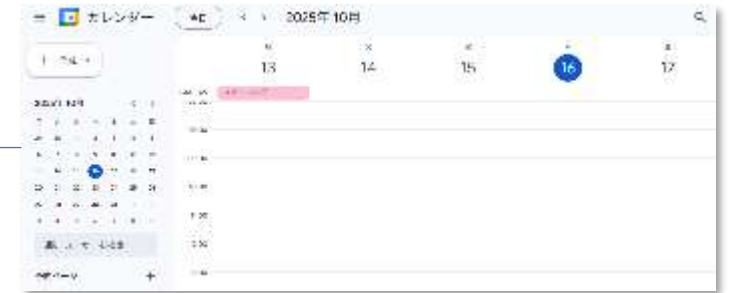
(例) 地域イベントカレンダー



マスターGoogleカレンダー



地区センターカレンダー



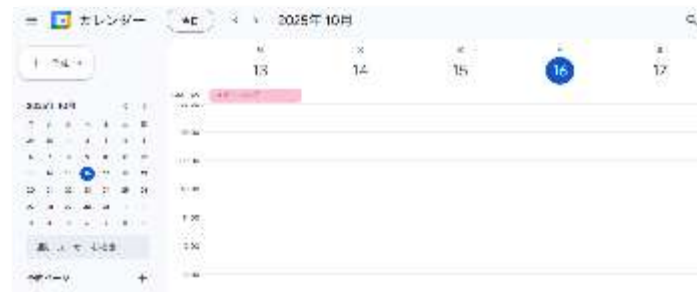
共有



表示

共有

連合カレンダー



連合カレンダーエクセル



Gemini でGoogleカレンダー用CSV作成

企業連携プロジェクト事例④

(株)eek×オーティス(株)・東真産業(株)

eスポーツを通じた地域活性化と人材育成プロジェクト

地域の機能性素材開発・製造メーカー「オーティス株式会社」
：プロeスポーツチーム「DetnationJ」のスポンサー企業。自社技術を使って、
プロ選手向けのマウスパッド「Xten」を開発・販売

地域の総合企業（SS、LPガス、レンタカー等）「東真産業株式会社」
：自社にeスポーツ部を持ち、地域貢献、地域人材の育成に力を入れている。

eスポーツとか企業「株式会社eek」
：eスポーツを活用した様々な事業をコンサル。教育機関と連携した福祉施設
でのプログラム開発、eスポーツ施設の設計・運営、プレイヤーのセカンド
キャリアの育成・マッチング

+ 岡山県のプロeスポーツチーム「SETOUCHI SPARKS」との
連携の深化

MANIWA SPORTS FESTA 12月6日(土) 13:30 - 16:30
参加費無料!!

1年の感謝を込めて!
プロと楽しむeスポーツ祭り

会場: Innovation Commons修徳館1階 真庭市久世2511-13
13:30 開場
14:00 体験会※プロeスポーツ選手の指導付き
15:00 ぷよぷよ大会
16:20 閉会※予定

体験内容

 ストリートファイター6 @CAPCOM	 ぷよぷよ	 マインクラフト	 eFOOTBALL
----------------------------	----------	-------------	---------------

プロeスポーツチーム **SETOUCHI SPARKS**が参加!!

大島	レオバGC	Taisei	きち	ルオン	坂本

※ お問い合わせ
下記URLへアクセスか事務局まで
MANIWA eスポーツクラブ実行委員会事務局
TEL:0867-44-1414 FAX:0867-44-1477
MANIWAeスポーツクラブインスタグラム
📷 <https://x.gd/ukN8i>
MANIWAeスポーツクラブ X
✉ https://x.com/MeSC_x

◆ 参加申込フォーム

後援: 真庭市 真庭市教育委員会 <https://forms.gle/KJNvRChfpqWUHQ4>

『人』を育み、地域の未来を拓く

真庭市のDXは技術導入だけにとどまりません。

地域に住む一人ひとりがデジタル技術を活用し、未来に参画できる「人づくり」にこそ、真の価値があります。

地域DXを通じて、様々な企業がビジネスを興し、そのツールとなるテレワークはより一層当たり前のことになると思います。既にそうなっている実感もあります。



DX人材育成プログラム「鼓山塾」



AIによる市民サービス高度化



共助を促すマッチング機能

真庭モデルが 示す、 日本の未来

テレワークは、もはや単なる働き方の選択肢ではありません。
それは、地域社会の未来を創造するための不可欠なツールです。
今後、真庭市のテレワークの成長戦略は、次の4つの要素が鍵であると考えています。

真庭DXの戦略方向：

01

強固な官民連携

02

修徳館などの
物理的拠点

03

まにあぷり等
によるデジタル
基盤の定着

04

「人」への投資

働き方について



「転職なき移住」に共感し、リモートワークを中心にした新しい働き方を実践しています。

地域で働く若者や女性にリモートワークを通じて、仕事ができるスキル・キャリア開発を進め、都市部等でのデータ入力や秘書・経理業務委託を推進しています。

当社の主な研究員も、プロジェクトでリモートワークで業務を推進しています。

【課題①】

当社では2023年8月から、ハローワークを介して、広島県の人材を経理のリモートワーカーとして正社員採用をしています。

この自社モデルを展開すること。企業間連携を拡大し、テレワーク需要を喚起するハブ機能の強化することを課題としています。

【課題②】

修徳館の施設(ハード)としての更なる活用

テレワーク講座、セミナー、交流イベントなどの利用促進

地域内外の認知を広げて、修徳館の施設としての魅力発信を強化していくことも課題としています。

ご清聴有難うございました

真庭市DXモデルについてより詳しく知りたい方、ご自身の地域での実践にご興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

会社名

株式会社まちと学びのイノベーション研究所

メール

info@clii.co.jp

所在地

岡山県真庭市久世2511-13（修徳館2階）

CITY&LEARNING

innovationresearchinstitute